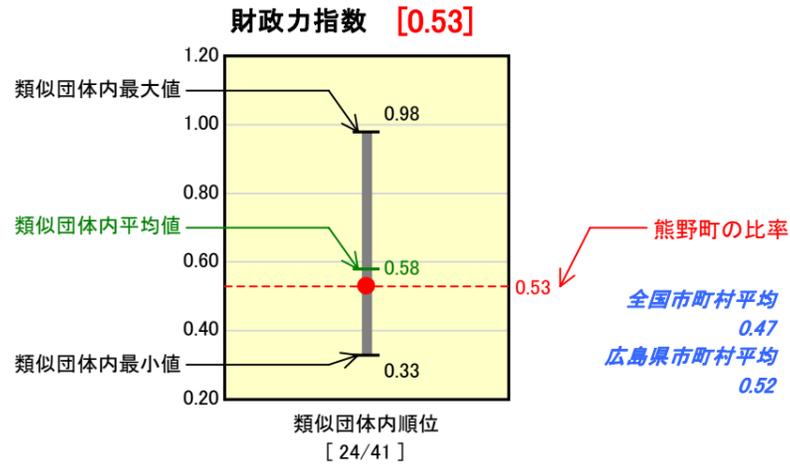


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

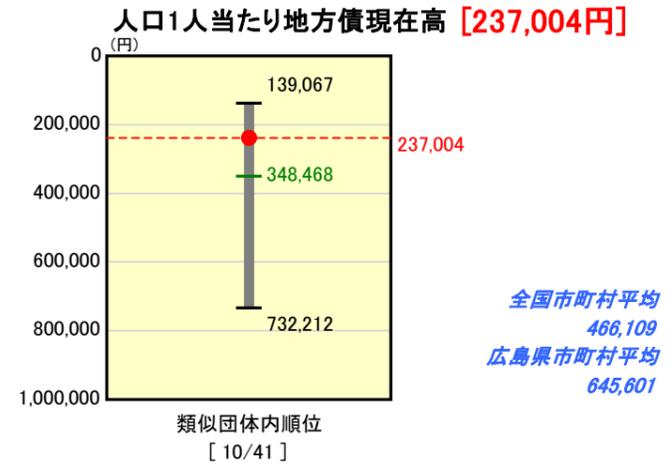
広島県 熊野町

人口	26,055 人(H17.3.31現在)
面積	33.62 km ²
歳入総額	7,627,392 千円
歳出総額	7,423,113 千円
実質収支	185,317 千円

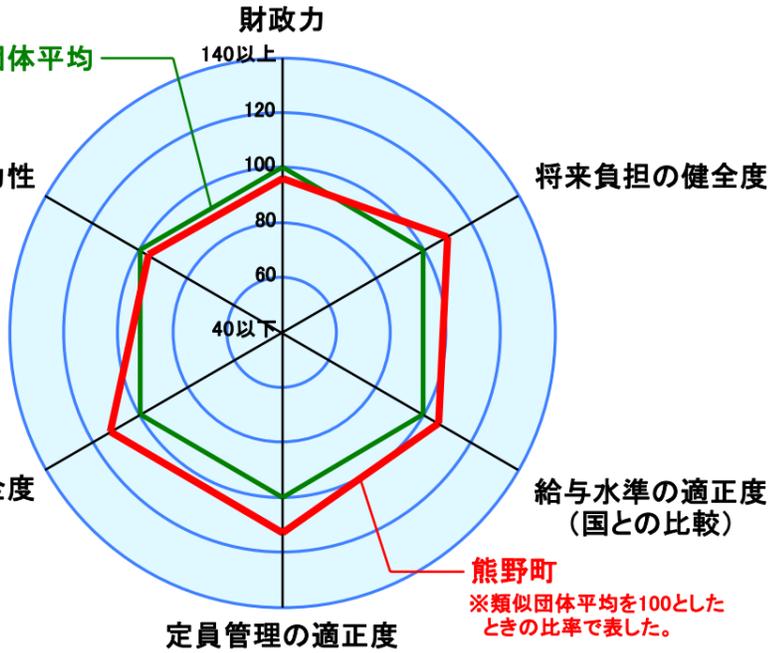
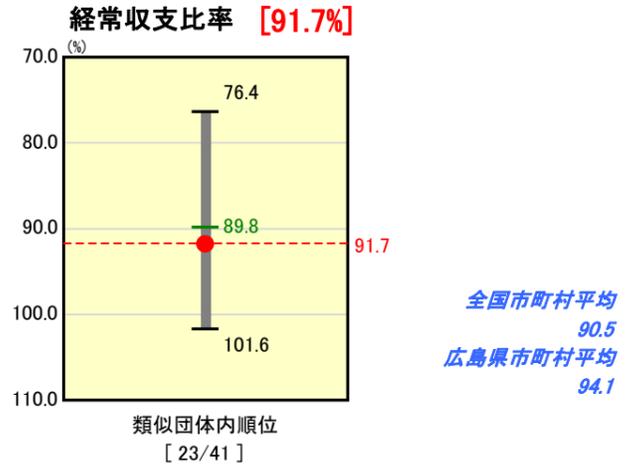
財政力



将来負担の健全度

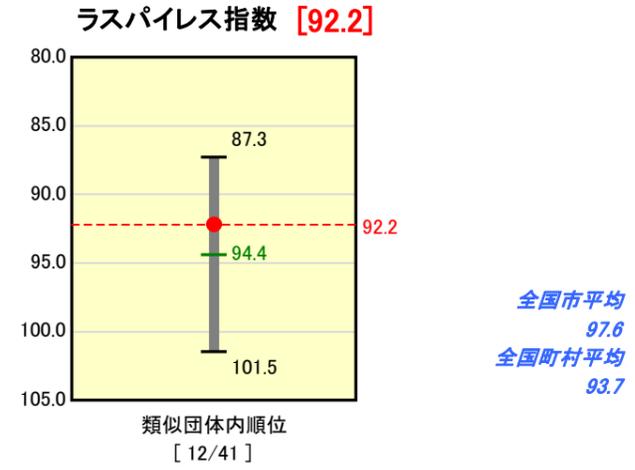


財政構造の弾力性

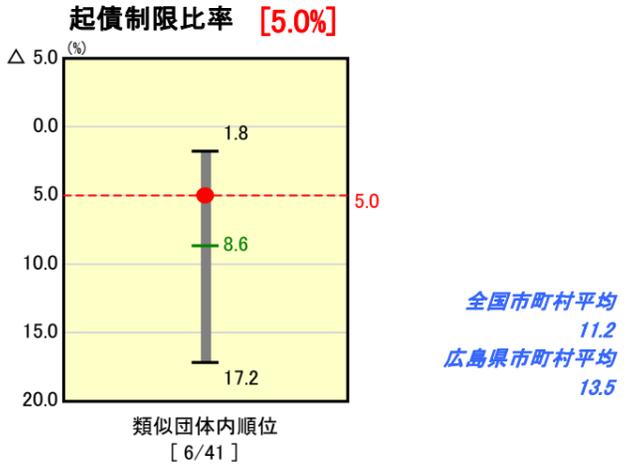


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

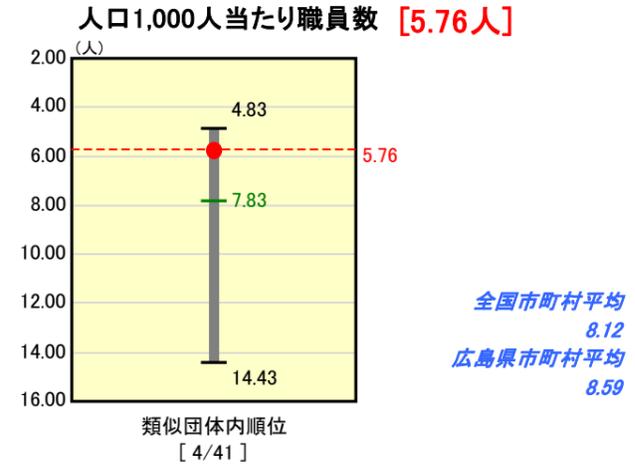
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

【財政力指数】(14年度0.504、15年度0.517、16年度0.532)
平成14年度から収納推進室を設置し、税徴収率の向上を図っている。特に滞納分への徴収(14年度22.9%→16年度25.1%、2.2%増)を強化しており若干の効果が見られるが、今後とも滞納額の圧縮等引き続き徴収業務の強化に取り組む。

【経常収支比率】
前年度から10.2%の増で、類似団体平均を上回っている。主な要因としては、特別会計等への繰出金が挙げられるが、特に公共下水道事業特別会計、介護保険事業特別会計への繰出金は年々増加している。平成15年度に策定した第3次行政改革大綱に基づき、経常経費の削減に努めており、平成16年度では、計画以上の削減効果を挙げている。今後とも経常経費の削減に努めていきたい。

【ラスパイレス指数】
当町においては、従来から指数は低く推移しており、平成16年度においても類似団体平均を2.2%下回り、全国町村平均を1.5%下回っている。

【起債制限比率】
過去から普通建設事業に係る起債発行が他の市町村と比べ著しく低く、また、平成12年度において筆の里工房建設事業における銀行等引受資金の繰上償還(523,400千円)を行なった結果、類似団体平均を3.6%下回り、全国市町村平均を6.2%下回っている。平成18年度以降、主だった普通建設事業はないが、平成15年度から平成17年度に集中した公園や図書館等の施設整備事業の起債償還が平成21年度から始まるので今後とも新規発行の抑制に努めたい。

【人口1人当りの地方債現在高】
起債制限比率欄で分析したとおり、比率が低いこともあり、人口1人当りの地方債現在高は、類似団体平均を111,464円下回り、全国市町村平均を229,105円下回っている。今後、平成17年度の施設整備事業等の起債発行により1人当たり約38,000円の増加となる見込みであるが、引き続き起債の新規発行の抑制に努め、水準を下回るよう努める。

【人口1,000人当たり職員数】
人口1,000人当りの職員数は、類似団体平均を2.07人下回り、全国市町村平均を2.36人下回っている。引き続き、集中改革プランで平成17年4月1日定員170人を平成22年4月1日には定員155人(15人減)の目標値を掲げ、職員削減に努める。